

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

宮田村

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	林道整備事業
事業費 1,188,000 円 (うち支援金: 593,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

計画的な間伐材の搬出及びトラックでの運搬時に、たびたび土砂崩落による林道の災害が起こり、間伐作業及び運材車両の通行に支障をきたしており、林道の被災等を未然に防ぎ、安全な車両の通行確保が求められる。

(2) 本事業の目的

計画的な間伐材生産を進めるため、災害等を未然に防ぎ、間伐材の搬出作業及び木材運搬車両の安全な通行を図る。また、林道終点にある宮田高原キャンプ場の利用者への利便を図る。

事業内容

(1) 実施場所：林道寺沢線

(2) 対象者：林業事業体、一般観光客

(3) 実施方法：林道脇に県産間伐材の丸太を利用した落石防護柵を設置し、林道法面から崩落してくる巨石、土砂を路面手前で防護する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

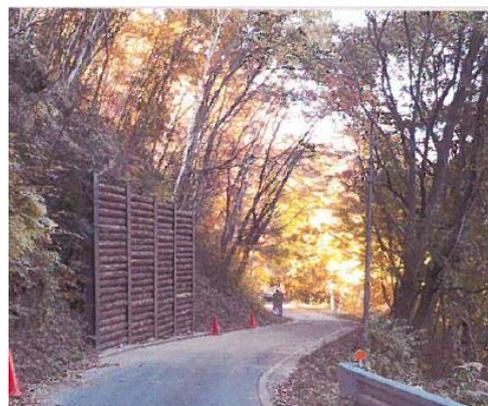
①全体計画 (平成 30～34 年度)

年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
丸太防護柵	延長 L=8m	延長 L=8m	延長 L=8m	延長 L=8m	0

②平成 30 年度実績

落石防護柵設置工事 L=8.0m

着工前



事業効果

(1) 事業実施の効果

落石防護柵設置工事を実施することで、通行車両の安全が確保され、森林整備の推進が図られる。

(2) 継続性

防護柵を設置することで、通年安全対策が図られ、重機による毎年の土砂撤去費用が軽減される。

また、今後森林整備の計画的な実行が図られる。

(3) 普及性

計画的な搬出間伐を進めていく上で重要な路線であるとともに、避暑地あるいは憩いの場として利用される宮田高原へのアクセス道路として観光振興の観点からも重要な路線であり、多くの県民への恩恵が期待できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

林道を整備したことにより、林道の保全及び、林産物搬出・造林等林道関係作業車両ならびに宮田高原キャンプ場の利用者の交通の円滑化・安全が図れた。

(2) 課題

例年、豪雨による落石等もあり、定期的な点検と管理が必要である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、林道が安全に走行できるように林道整備を実施していく。

年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
丸太防護柵	延長 L=8m	延長 L=8m	延長 L=8m	0	0

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)